

轟 と ど ろ

平成21年3月25日
3月号

全国標準学力テストの結果は

先日行いました学力検査の結果が出ましたので、お知らせします。本校は、全国平均50.0と比較しまして国語は55.2、算数は53.5で、本校の総合学力は54.6でした。全ての学年において全国をかなり上回ることができ、子どもたちの頑張りが数値の伸びで分かりました。詳しい個人データについては各家庭に配付しております。

桜とモミジの祈念植樹



春には桜、そして秋には真っ赤なモミジで埋もれるような、そんな学校にしたい。来校者からも観光客からも暫し時間を忘れ、うっとりするような学校環境をなお一層整えてあげたい。「あの素敵な学校を卒業したんです。」と子どもたちが胸を張る学校にしたい。一時故郷を離れても、やっぱり樅木が良いなあと懐かしむ大人に育てる取組をしたい。季節季節で自然が織りなす七変化の真ただ中で、直接地域の自然に関わらせながら情操を育てたい。そんな願いの第一歩を高木出さんと黒木計さんのご協力により植樹しました。

みんな楽しく6年生を送る会を実施



5日(木)に「6年生を送る会」が行われました。5年生が進行し、みんなでクイズやゲームそして卒業生VS在校生、卒業生VS先生でミニバレーをしました。その後、在校生一人一人から卒業生にお礼の言葉があり、卒業生からも思い出と抱負が語られました。



満点めざした漢字大会

11日(水)に漢字大会を開催しました。その学年で身につけるべきことを確実に定着させるために、定期的に大会を開き挑戦する場を設定しています。先日の計算大会に引き続き漢字大会を行い、頑張った成績の児童には、後日表彰状が贈られます。



校長コラム

3月は、「卒業」そして「転勤」と別れの季節となる。生活を共にした家族や同僚が、新天地に向かって離れていく。この時期は、誰しも胸中は複雑であり落ち着かない。慣れ親しんだ環境から全く体験したことのない環境に飛び込まなければならない状況は、不安と希望が入れ混じる。人は誰しも居心地の良い環境を離れようとはしない。それでは成長が望めないのである。よって教員も「転勤辞令」を受けて3年前後で見知らぬ学校へと異動する経験を重ねている。本校の児童は、小学校を卒業すると同時に親元を離れ寮生活を送らなければならないことから、心中を察すれば親子共にこの時期は不安となるのは当たり前のことである。しかし子どもたちは、この「不安」より新しい環境に飛び込む「希望」が上回るものである。学校が変わる・友だちが変わる・先生が変わる・授業が変わる中で、体験したことのない世界に入り、新しい出会いが「希望」を膨らませる。中学校での生活が始まり、新しい自分に脱皮する・ステップアップする絶好の時期を迎える。この経験が人を創るといっても過言ではない。昨日、本校から自慢の卒業生3人が巣立った。よく下級生の面倒を見たり、よく勉強したり、よく挨拶をするなど本当に素敵な人に育ってくれたことに感謝したい。3人には、プラス思考で新しい環境に自分から一歩を踏み出すことに心がけ、後悔のないよう全力で希望に向かって邁進して欲しいと切に願っている。

防火ポスター優秀賞に



3月1日(日)に八代イオンで、「春の火災予防運動」防火ポスター表彰式が行われました。百数十点の応募作品の中から、5年生4人が共同で画いたものが「優秀賞」に輝きました。表彰式では、緊張した表情の中にも落ち着きが見られ、堂々と賞状と記念品を受け取りました。授業で取り組んだ作品が認められ、高い評価を受けたということは、日ごろの充実ぶりの一面が垣間見えたようで嬉しく思いました。

卒業記念製作が順調に

本年度の卒業記念製作は、五家荘を訪れる観光客の方々への歓迎案内板づくりです。黒木智光さんから寄贈いただいた立派な杉板に、卒業生が一字一字心を込めて観光客への歓迎表示を製作しています。これは、近々、五家荘の主要ポイントに設置されることになります。当地を訪れたの方々をもてなす子どもたちの心づかいに気づいていただくと嬉しいです。



感動的な卒業式を挙行

24日(火)に、久さん、美さん、村さん3人の卒業式を開催しました。13人が兄弟のように学校生活を送ってきたこともあって、感動感動の連続でした。みんな嬉しいような寂しいような複雑な面持ちの中で精一杯呼びかけ・歌をうたう声が会場いっぱい響き渡りました。家族・来賓・地域の方々がたくさんご列席いただいた中で、卒業生の喜びは地域みんなの喜びであることを肌で感じながら3人は巣立ちました。

